

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

16299

施設管理事業（西田井団地）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	4	生活排水対策の推進
取組方針	4	公共下水道事業・集落排水事業の適正管理

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	下水道費		
	目	下水道施設管理費		
	大事業	地域汚水処理施設管理事業		
中事業	施設管理事業（西田井団地）			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	河川港湾課	曾山 誠 435-1090
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	西田井汚水処理施設の運転管理事業の維持管理。		区域内の家庭排水等を浄化し公共用の保全をめざす。			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
			西田井汚水処理施設に流入する汚水の水処理を行い、適切な管理を行う。	西田井汚水処理施設に流入する汚水の水処理を行い、適切な管理を行う。	西田井汚水処理施設に流入する汚水の水処理を行い、適切な管理を行う。	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	0	0	0	0	2,521	4,523	0	0	0	0
伸び率（%）	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△100%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	0	0	0	0	2,469	2,469	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	2,469	2,469	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	4,044	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	0	0	0	0	△1,523	4,523	0	0	0	0
所要人数 （人）	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.31	0.31	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理委託料36,588千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
施設	施設の適正な運転管理	件	目標値			1		
			実績値			1		
			達成度(%)	%	%	100%	%	%
			達成度(%)					
成果指標	水質基準達成率：（基準達成回数／年間検査分析回数）×100	%	目標値			100		
			実績値			100		
			達成度(%)	%	%	100%	%	%
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>本事業は、西田井団地地域污水处理施設の運転及び維持管理を円滑に行うことで、西田井団地にお住まいの市民の健康を保護するとともに、生活環境の保全及び公共水域の水質保全に寄与することを目的としている。このことから、現状を維持し継続していく必要がある。</p>
見直し・改善内容	<p>運転管理については、水処理の状態把握に努め、より効率的な運転方法を模索し、電気料金等のコスト削減に努めていく。維持管理については、設備の故障による水質の悪化及び突発故障による事業コストの増加を防ぐため、重要な設備については、計画的に点検整備または更新を行い、安定した水処理及び設備の長寿命化に努めていく。</p>